

高次脳機能障害啓発講演会

～講演会～

広島における高次脳機能障害支援ネットワークとは！

～高次脳機能障害者の自立に向けて～

昨年5月に東広島に高次脳機能センターが開設されました。4年間の「高次脳機能障害支援モデル事業」が実施されその結果を踏まえて、高次脳機能障害の患者や家族は、画像診断や支援プログラム、グループリハビリ、支援コーディネーターによる相談支援などが受けられるようになりました。しかし、地域の隅々にいきわたるネットワークの構築はこれからです。市町の行政や医療・福祉に対して、より一層の理解や支援および連携を深めていただけるように啓発活動を続けていかなければなりません。また医療についてはこのような支援が受けられるようになったものの、医療や福祉の窓口自体がどこにあるのかなどについて、いまだに多くの患者と家族の方がわかっておられないことも現実です。

そこでこのような啓発活動や、医療や福祉との橋渡しの役目のために「特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま」が設立され、この4月より活動を本格的に開始いたしました。このたびその活動開始の最初の取り組みとして、高次脳機能障害者への支援と自立に必要な連携について、広島県としての取り組みの現状と課題を、専門家の先生方にご講演いただくと思います。ふるってご参加ください。

記

と き 2007年5月27日(日) 13時30分～16時30分

ところ 広島市東区地域福祉センター 3階大会議室

広島市東区東蟹屋町9-38

13:30～14:10 「広島県における高次脳機能障害対策のこれまでの経緯」

講師:丸石正治氏(広島県高次脳機能センター長)

14:20～14:50 「高次脳機能障害のある方の社会参加に向けて」

～個別の事例を通して～

講師:百川 晃氏(広島県高次脳機能センター支援コーディネーター)

15:00～15:40 「集団認知リハビリテーション:段階的アプローチ・プロセス」

～障害認識向上のための神経心理プログラム～

講師:馬屋原誠司氏(クラブハウス・シェイキングハンズ:担当心理士)

15:50～16:30

ディスカッション

対象 相談支援事業所、作業所、行政福祉関係者、高次脳機能障害に関心のある人
高次脳機能障害のある方とその家族

主催 特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま

協力 広島県高次脳機能センター(広島県身体障害者リハビリテーションセンター内)
脳外傷友の会広島シェイキング・ハンズ

